

第2学年 B 組

2年B組担任

1 学年経営目標(3年間を見通した指導を行う)

協働 ～生徒も職員も保護者も笑顔～

2 学年目標

「共生」～認め合い・自律～

3 学級経営目標

誰もが自分のことと同じように相手のことも大切にできる、居心地の良い学級

4 クラス目標(生徒が話し合いで決めたもの)

喜怒哀楽～協力・認め合い・メリハリ～

5 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着と家庭学習の充実 仲間と協力して発信できる生徒の育成 value of learning を見出す。 	毎日の授業を大切に。様々な場面で班学習を設定し、学び合いができるようにする。 家庭学習で何をやったら良いのか分からないという生徒を減らせるよう、丁寧に見て、必要に応じて個別の対応をし、一人でも「わかる」という実感を持たせ学習意欲に繋げていく。学習委員や各班にいる学習系の活動を通して、一人ひとりが自分に合った学習の仕方を開拓できるような支援を行う。 答えのない課題に対してどのように解決するのか、仲間と協力して話し合い、最善の方法を模索していこうとする態度を育てる。 生涯学習の意義を理解できるような人に成長してほしいので、中学生のうちから学習習慣を確立させることがその後の人生に大きく影響することを伝えていく。
道徳教育	<ul style="list-style-type: none"> 自他を尊重する生徒の育成 正義の軸が確かな学級 集団の一員としての自覚を持つ 	正しいことを正直に行っている人が嫌な思いをしない集団作りを作れるよう、善悪の判断をきちんとできるよう支援、指導する。また善い考えが埋もれないよう、小集団の中で発表する機会を作り、発信する力を養う。
キャリア教育 (進路学習)	<ul style="list-style-type: none"> 将来を見据えて自己理解を深める。 社会の一員としての自覚を持ち、将来への希望を持つ。 	生徒が成長して社会へ出たときに、社会人として相応しい人になれるよう、また好ましい人間関係を築けるよう努力する姿勢を養う。 自己理解を深めることを通して、主体的に進路を選択する。
生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 互いの個性を認め合い、尊重できるような人間関係を築く 基本的な生活習慣の徹底 素直な心を持つ 折れない心を育てる 	担任自身が生徒一人ひとりの良さを認め、言葉にして伝えることで、理解してもらっている、見てくれている人がいるという安心感を持ってもらう。また、互いの良さを認められるような言葉かけを生徒同士でクラスに広められるような活動を促していく。様々なことに積極的にチャレンジし、失敗を繰り返すことで、簡単には折れない逞しい心を養う。(レジリエンス)
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 自治活動を充実 問題解決能力の向上と、発信する力を養う。 	「より良い学校生活」を目指して、仲間の幸せを願い働きかけができるような人間関係の構築を心掛ける。委員会や係の活動が、ただの点検活動や形だけの声掛けにならないように粘り強く指導し、「なぜ必要なのか」それぞれが考え納得し、願いを持った声掛けができるよう支援していく。また、リーダーとフォロワーの指導を行うと同時に、誰もがリーダーになれる学級を目指す。リーダーとしての経験がフォロワーとしての望ましい態度にも繋がるので、これらの経験を通して相手の立場を考えられるような人になってほしい。 また、これらの活動を通して、自己肯定感の向上や、学級、学年、学校の一員であることを自覚させる。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 職員同士の情報共有 家庭との情報共有 	職員間での情報共有を徹底し、同じ方向を向いて生徒の指導、支援にあたる。 家庭との連携を密にし、信頼関係を築く。 必要に応じて個別の指導ができるよう、家庭への連絡を丁寧に行う。